

Allied Health Sciences

北里大学 医療衛生学部

2010年11月1日発行(年2回発行)

— 第 10 号 —



〒252-0373 神奈川県相模原市南区北里1丁目15番1号

TEL 042(778)8111(代) FAX 042(778)9628

<http://www.ahs.kitasato-u.ac.jp>

発行責任者: 学部長 石原 和彦

平成二〇年七月からの一期に引き続いて、本年七月からさらに一期、教授会のご支持を得て学部長を務めることとなりました。過去二年間の学部運営の全般的な方向性の継続を認めていただいたものと感謝し、与えられた任期を、学部の発展のために尽力する所存であります。どうかよろしくお願い申し上げます。

この二年間、私達をとりまく社会情勢は大きく変化してき

ました。世界的な経済状況の悪化は、本学部にも様々な影響を与えております。

中でも私達教員にとって一番辛いのは、目的意識を強く持つて入学した学生諸君の中で、実家の家計悪化によって、落ち

着いた学生生活が送れなくなるところか、就学の継続が危ぶまれる事態に至る例に遭遇する時です。

本学部では、卒業生のご遺族である平塚様から頂いたご芳志によって「こまき奨学金」を平成二〇年から発足させました。給付型奨学金はその後、本学全体にも採用され、給付生の枠の拡大が図られております。今後とも、クラス担

学部長再任のあいさつ

任と学生係の緊密な協力体制を作り上げ、家計に問題が生じた学生諸君に対する支援を継続して参りたいと考えております。

平成二一年度の本学部における大きな動きは、健康科学科改革の試みでした。小林弘祐教授をリーダーとする「プロジェクトHS」の一年近くの結果、現在の教員組織を大きく変えないで受験生に対して教育内容をアピールで



医療衛生学部長
病態生化学 教授 石原 和彦

きる「四コース制」を二三年度からスタートすることになりました。オープンキャンパスでは、「四コース制」を前面に打ち出した広報活動を展開しました。今後、環境科学分野(サステイナビリティ実践学コース)の教員を迎え、さらに、精神保健学コースを選択する学生の進学先として、医療系研究科に臨床心理士コースを設ける計画を進めて参ります。

本学部A1号館は築後三八年を経過し、建替えが必要な時期にあります。当初は学部独自の考えで新A1号館建設を構想していましたが、本年七月、理事会で「相模原キャンパスマスタープラン」が承認されました。その結果、従来、各学部が個別に計画・実施していた校舎建設を、新一般教育棟(L1号館)竣工と新病院の建設開始を機に、このマスタープランに則って建替えをすることになりました。本プランは、取り壊し予定の一般教育部旧校舎から体育館の南側までの間に、東西方向に伸び、三列に整列したビルを建設するもので、この中に本学部、医学部、看護学部の校舎の大部分が含まれる予定です。現在、北里教授梅田教授を中心とした「プロジェクトA1」チームが結成され、医学部、看護学部等との交渉を重ねながら、新校舎の建設を計画して頂くことになっております。私の任期の間に基本方針が固まり、具体的な計画に着手できる段階に進めるようプロジェクトを支援して参ります。

このようにして、次の世代の本学部教育・研究の推進に少しでも役立つ施策を着実に実行して、任務を果たして参りたいと考えております。

キャンパスのリニューアル

昨年来工事中であった新L1号館がいよいよ秋から稼働開始しました。四十余年にわたって北里大学に学ぶ者の第一歩は旧L1号館から始まりました。新入生が期待や不安を胸に相模大野駅からバスに揺られて到着し、初めて眼にしたのは四十年前の斬新なデザインの校舎でした。大学正門の方から眺めると北里の「北」の文字をかたどった校舎の姿に新入生はある種の感慨をもったのではないでしょう。実際には、当初から雨漏りがしたとのこと。形状が複雑なためにどこから雨水が入り込むのか不明で営繕部泣かせの建築物だったようです。(講師・野田 和子)



建設当時の旧L1号館(衛生学部閉校記念誌より)

C E

臨床工学 Clinical Engineering Course

■臨床工学技士とは

臨床工学技士は、人工呼吸器や血液浄化装置などの生命維持管理装置の操作や保守点検を中心とした医療機器全般にわたるスペシャリストです。臨床工学技士が誕生して間もなく四半世紀になりますが、医療職種で唯一「医療機器安全管理学」を学んでいることから、最近では「医療機器安全管理責任者」という重責を担う施設も多くあり、医療の安全確保と維持に不可欠な存在になっています。

臨床工学 研究室紹介

医療安全工学研究室の紹介

臨床工学専攻 廣瀬 稔



今年四月一日付けで臨床工学専攻に五番目の教育研究単位として「医療安全工学」が誕生しました。現在私一名で担当しており、単独の研究室ではなく、今まで通りA三号館二階の臨床工学研究室に机を構えています。「医療安全」や「医療リスクマネジメント」と言う言葉は、随分前から耳にしています。が、一般社会でクローズアップされたのは二〇〇〇年以降になってからのことです。これは、二〇〇〇年前後に国内で初歩的なミスから重篤な医療事故が頻発したことから、医療法が改正され各医療機関の医療安全への取り組みを強制化、義務化されたことが背景のひとつにあると考えます。医療事故は一つの要因だけで起こるものは珍しく、沢山の要因が複雑に絡み合っただけで発生します。そのため引き起こされる危険の分析と対策はシステム安全としての工学領域の研究対象となります。この研究室では、複雑高度化している医療システムのの中で、医療機器やそれに関連する病院設備（電源設備・医療ガス設備）、使用環境や電磁環境、患者や医療従事者などのヒューマ



医療機器安全管理学実習の風景

ンファクタ、そして使用者に対する安全教育などの視点から、相互に関連した総合的なリスク解析や機器開発によって医療現場の安全性・信頼性を確立することを研究目的としています。現在の重点課題は、最前線の医療現場で問題視されている、医療機器の警報装置または警報システムの問題の実態調査と新たな警報システムの構築、また医療機器のユーザビリティに関する研究を主としています。将来的には他学科・専攻や他学部と共同で「医療安全講座」を開講し、「オール北里」で医療安全教育ができればと考えています。よろしくお願いします。

生 校 紹 在 紹

臨床工学専攻の4年間

臨床工学専攻四年 川口 翔子



合宿後の旅行で行った城ヶ崎でとったものです。（私は左端です。）

北里大学に入学してから3年半が経ち、あつという間に卒業の時期になりました。臨床工学専攻では、1年次は一般教養、2年次からは専門科目を学びました。3年次はより専門的な授業や実習をし、4年次に臨床実習と卒業研究を行っています。

1年生の頃は、大学生活の全てが新しく授業に部活、毎日がとても忙しかったです。2・3年次では専門科目の授業が難しく、授業後に友達とレポート作成やテスト対策などをしながら遅くまで残っていたのも今では楽しかった記憶です。また、入学当初は臨床工学技士の職種が自分達に合っているのかと仲間とたくさん悩みましたが、立派な臨床工学技士になろうと決断した時期でもありました。

4年生になり研究室に配属され、私は生体工学研究室に入りました。クラス単位で授業を受けていた頃とは異なり、自分で研究計画を立てて友達や先輩、先生方に相談しながら研究を進めていきます。私の研究室では、ゼミ合宿やテニス大会があり、研究後に仲間とテニスの練習をたくさんしました。また、ゼミ合宿後はそのまま研究室のメンバーで熱海へ泊まりに行くなど、勉強以外にも同じ趣味を持った仲間と大切な時間を過ごす事ができました。

4年間を振り返ってみると、ここには書ききれないほどの思い出がたくさんあります。もちろん辛い思い出もありますが、この大学で出会えた仲間がいたから乗り越えられたのだと思います。あと半年で卒業し、この大学やクラスの仲間と分かれることはとても寂しいです。ここで得た知識をいかして、チーム医療の一員として信頼される臨床工学技士になりたいと思います。今までお世話になった先生・先輩方、仲間全ての人に感謝しています。ありがとうございました。

■作業療法士

作業療法士はリハビリテーションを支える大切な職種です。作業療法の特徴は、心と体の両面に治療・援助を行うことです。そのため在学中は体に関する解剖学、生理学、運動学や、精神や記憶に問題を起こす認知症や精神障害等の心に関わる病気の知識・技術を学びます。これらの知識・技術を大学で習得した後、国家試験に合格し、病院や地域で心身に障害をもつ人の生活自立支援を行います。

作業療法学

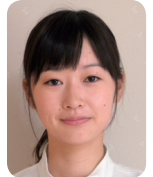
OT

Occupational Therapy Course

生 校 紹 介

作業療法士を目指して

作業療法学専攻二年 田仲 美春



北里大学に入学して一年半が経ちました。二年からは専門科目の授業も始まり、医療者への道を少しずつ歩んでいることを感じながら充実した日々を過ごしています。

作業療法学専攻では一年次に三日間の臨床実習が行われます。私は実習で、作業療法士の働く姿や患者様の様子を知り、作業療法の奥深さや面白さを感じました。作業療法士への憧れは一層強くなり、この先の勉強に向けてとても意欲が湧きました。しかし残念なことに、私は緊張のあまり、患者様とはほとんど話ができませんでした。

実習の経験から、患者様とよりよく接したいという気持ちを持ち、私は積極的にボランティア活動を始めました。はじめの頃は自分に課せられたことを行うだけで精一杯でしたが、徐々に、「どうしたらその方のためになるか」を第一に考えて、その上で楽しみながら関われるようになりました。また、作業療法の知識や技術をもって患者様や利用者様と接してみたい、と強く感じるようになりました。ボランティアは作業療法士を目指す上で貴重な勉強になっています。



評価の実技演習をしている様子

大学生活は忙しく大変なことも多いですが、仲間の存在はとても励みになります。作業療法学専攻は、同学年とも他学年とも仲が良いたことが特徴です。私たち二年生は、クラスで球技大会に参加したり、テスト後に打ち上げをしたりしています。互いに励まし合っているから切磋琢磨しています。先輩方からは、勉強・実習についてのアドバイスを多くいただいています。学年が上がるにつれて実習や勉強で、求められることも高度になっていくと思います。この様な恵まれた環境で、仲間と日々勉強に励み人間性を磨き、よい作業療法士を目指していきたいと思っています。

活躍する卒業生

作業療法士になって

北里大学東病院
リハビリテーション部 前場 洋佑



高校時代の病院見学をきっかけに作業療法士に憧れてから八年、作業療法士として働き始めてから三年が経ち、今は毎日充実した日々を過ごしています。

私は、主に神経難病と手の外科領域の作業療法に携わっています。神経難病は根治的な治療法が見つかっておらず、慢性で進行性の経過をとる疾患が多くみられます。作業療法としては、一次障害としての機能低下を最小限に抑えつつ、二次的に生じる活動制限に対して、残存機能を用いた生活動作指導や福祉用具の提供を行います。手の外科領域では、より良い機能獲得を求めて訓練を行います。手は作



装具作成中の様子

業を行うために不可欠であり、きわめて繊細な器官です。少しの関節可動域制限や筋力低下で不便さを感じます。一見対照的な二つの領域ですが、どちらも患者様に寄り添い、より良い生活を目指して訓練を行うという意味では変わりありません。

また、臨床業務以外では、今年11月27日に開催される北里作業療法学会の実行委員長を務めています。北里作業療法学会とは、作業療法学専攻の卒業生が主体となり活動している組織で、毎年研修会と学術集会を開催しています。四〇〇名以上の会員数を誇り、学術集会は今年度で11回目を迎えようとしています。近年では外部からの演題発表や参加者が増えてきており、学会としてより一層の発展を遂げています。

最後になりますが、来年4月17日(日)には作業療法学専攻の浅井憲義教授を学会長として、北里大学相模原キャンパスで第13回神奈川県作業療法学会が開催されます。実行委員、そして卒業生の一人として、学会を盛り上げることが出来ればと思っています。

教員教育

教員教育研修会

平成22年度（第14回）医療衛生学部教員教育研修会プログラム

教員教育研修会を九月二五日に開催いたしました。

主題は、「世界で活躍できる学生の育成」です。日本では、若い学生が内向きで、昨年はハーバード大学に入学した学生が一人しかいなかったと報道されています。

しかし、トーマス・ジェファソン大学（TJU）の学生さんが北里に来られ、模擬講義をした時、対応していた学生さんたちの目が、普段の講義では見られないほど輝いていました。そこで「学生さんたちの目を、外に向ける」教育を目指し、タイトルをこのようにしました。

一、TJU・留学、受け入れ側の学生さんからの報告は素晴らしく、全学の学生さんへの報告会を行ってほしい内容でした。また、担当された服部、大部先生からは、歴史的経緯や御苦労、改善点等、示唆に富む提言を頂きました。

二、メンタルヘルス・田ヶ谷先生に精神疾患の系統的な講義を、次に「死にたいと言われたとき」の三例につき寺島先生に紹介して頂き、対応の難しさを考えさせられました。



Thomas Jefferson大学との国際交流

北里大におけるトーマス・ジェファソン大学生との交流

三、現代学生気質・樋口先生から、中上位の学力低下が甚だしく、親も子も「そこそこ志向」、男子学生は草食化し、「強さと厳しさ」をどの様に育てるか、やはり世界に目を向けさせる事が重要であるとの話がありました。

四、模擬講義・松本先生から、北里大学の遺産の入学試験問題を例に挙げ、非常に解りやすい講義をして頂きました。書かせる事の重要性、また「実力が無いが、プライドが高い」という現代の学生気質に関するお話も伺えました。

本研修が、参加された先生方の教育の向上に役立てば幸いです。

（武田）

新制度導入

健康科学科の今後の展開

4種類の専門コース設置

健康科学科（HS）の前身は一九六八年に衛生学部産業衛生学科として開設し、一九九四年に、衛生学部を医療衛生学部として発展的に改組した際に、衛生技術学科産業衛生学専攻となった。主に職業病などの問題解決に向けて、国家・地方公務員をはじめとする多様な業種へ多くの人材を送り出してきた。しかし、その後の社会情勢と社会的ニーズの変化により、環境破壊は必ずしも産業活動から発生するとは限らない状況になり、人間の健康確保に関わる「予防医学」の教育を拡大し、その目的と独自性を明確にする目的で、二〇〇六年四月に健康科学科としての改組に至った。その際のHSの教育目的を「地域社会の様々な環境で生活している人々や働く人々の疾病の予防と健康の保持・増進について、人間を取り巻く環境要因との相互関係を予防医学の観点から学際的教育を行い、環境保健マネージメントのできる人材や健康増進の専門家を育成すること」とした。しかし、一方で、何を学ぶのか、またどのような資格を取得してどのような就職先に就くことが可能なのか、入学希望者には必ずしも明確ではなかった。そこで、HSを発展的に再構築す



4コース制健康科学科パンフレット

ることを目的としてプロジェクトHSが平成20年に始動され、平成22年に最終答申が提出された。

最終答申は、本学科の教育理念を明確にし、多岐に渡る学生の希望を十分に満足できるように教育内容を明確にした専門コース制を設置することとなった。共通基盤となる取得国家資格を衛生管理者と食品衛生管理者の二つとし、さらに三次から四種類の専門コース、「産業保健・作業環境学コース」「食品安全機能学コース」「精神保健学コース」「サステイナビリティー実践学コース」を設置して各コースの教育内容及び関連性の高い資格を明確にすることとした。なお、学習意欲が旺盛な学生や、三年次の専門コースに満足できなかった学生のために、四年次に異なる専門コースの授業単位を取得することもできるようにカリキュラムを配慮した。この専門コース制は平成23年度健康科学科入学生から適用される。（大場）

掲 示 板

北里大学東病院

北里大学東病院は、昭和61年4月に北里大学病院の施設・設備を充分に機能させ、更なる活性化を図ること、そして、地域医療の新たな『核』を目指し開院いたしました。

「患者中心の医療」「患者と共に創りだす医療」を理念として、職員が一丸となって診療、教育、研究活動を実践し、大学病院として特色のある医療を提供しております。病床数は、開院当初の五〇七



床から増築を経て、現在は五三八床（一般病棟四二八床、精神病棟一一〇床）、外来患者数は1日平均九六六人（平成21年度実績）です。国内有数の内視鏡部門を有する

消化器疾患治療センターにおいては、消化器がんをはじめあらゆる消化器疾患に関する高度、かつ、最新の治療・研究を行っております。また、神経・運動器疾患治療センターでは、神奈川県委託事業としてALS（筋萎縮性側索硬化症）等の神経難病に関わる治療・研究を、そして、精神神経疾患治療センターでは、神奈川県精神科救急医療の基幹病院として地域医療の向上に貢献しております。

アットホームな雰囲気と職員間の良好なコミュニケーションの下で、医師を中心とした高品質できめ細かなチーム医療が効率的に展開されております。更に、海外を含め多くの学生・医療従事者の実習・研修を受け入れ、教育機関としての役割を担っております。

建物は、病院棟、精神科棟、デイケア棟及び南病棟からなり、特にデイケア棟には、精神科デイケアの専用施設として体育館や温室等があります。春には満開の桜と藤色の建物が見事なコントラストをかもします。

（東病院事務室）

私の留学記



併設クリニックにおける臨床実習にて
・白衣はすべて学生・Janice Wensveen, O.D., Ph.D. Clinical Associate Professor（★金髪の方）

ヒューストン
留学
視覚機能療法専攻
助教 伊藤美沙絵

オーストラ
リア留学
臨床工学専攻
講師 酒井 利奈



研究室の仲間とシュッツ教授を囲んで

2月末から約2か月間、ヒューストン大学Optometryカレッジへ行ってきました。日本ではあまり馴染みがありませんが、欧米で活躍する眼科専門職（O.D.: Doctor of Optometry）の養成校でクリニックも併設されています。視能訓練士（O.R.T.: Orthoptist）と似た職種ですが専門領域は広く、資格取得までに最低8年、その間に徹底した臨床教育2年が課せられています。私の所属したGussert教授の研究室は2名の眼科医、3名のO.D.、3名のPh.D.が在籍し、ピント調節を担う水晶体に関する研究を主

に行い、全米でもトップクラスの研究実績を誇ります。滞在中はアカゲザルを用いた実験や学生教育臨床現場での実践は非常によい経験でした。私自身、学生教育においてはより研鑽が必要であると感じ、臨床や研究分野に関しても新たなヒントが得られた時間となりました。引き続き参加した米国白内障屈折矯正手術学会（E: ポストン）の発表で私の短い米国滞在は終了しました。学生の皆さんが広い視野を持った医療人になるべく努力し続けることを願っています。



大学の近くにある人工の海岸サウスポーク



ブリスベン川の対岸から見た街の中心（右はQUTの校舎）



大学のすぐ隣、ボタニックガーデン（真ん中のビルはQUTの校舎）

クイーンズランド州にあるクイーンズランド工科大学（以下、QUT）で3ヶ月間共同研究をしてまいりました。QUTのあるブリスベンにはオーストラリア第3の都市で、近代的なビルの中を大きく蛇行するブリスベン川、豊かな

森が生い茂るマウント・クイーンなど、人工と自然の調和が絶妙な素晴らしい街です。研究の成果についてはまたの機会に...と言うことで、この紙面ではブリスベンの魅力をお写真でご紹介させていただきます。



このひとに聞く

教授に就任して

臨床検査学 教授 佐藤 雄一



平成22年7月1日付けで臨床検査学の教授に就任致しました佐藤雄一です。

私は、北里大学衛生学部化学科（12期生）の卒業生であり、国立がんセンター病院での病理検査担当技師に始まり、同研究所病理部での研究員・主任研究員を経て、平成2年より母校に戻り医学部病理学教室、医療衛生学部の設立に伴い移動し病理学教室、遺伝子検査学教室、臨床検査学教室と転々としながら現在に至っております。同期には、卒業した学科は異なりますが、健康科学科の太田教授、リハビリテーション学科生理学の秋田准教授、医療工学科薬理学の松尾講師が現在もおられ、心強いかぎりです。

さて、北里大学相模原キャンパスには、医学部、医療衛生学部、看護学部、理学部など生命科学を



担う基礎から臨床まで複数の学部が近接して存在し、かつ北里大学病院は神奈川県東部の大規模中核病院として機能しています。よって、北里大学は疾患の基礎研究と臨床研究を繋ぐ「Translational Research」を行うには本邦でも最適の環境にあります。現在、医学部臨床各科との共同研究体制を確立し、がん患者からの腫瘍組織、血液、尿等を継続的に採取・保存し、これらを用いて様々なプロテオミクス手法を駆使して腫瘍の早期診断、抗がん剤感受性マーカーの獲得を目的とした研究を行っております。

私は運良く母校へ戻り、さらに教授になることが出来ました。今後は先輩として、若い世代の人間がその能力を遺憾なく発揮し、伸び伸びと研究できる環境を提供していきたいと考えております。また、研究は一人だけでは大きな広がりには望めませんし、昇任、昇格に必要な業績も出来ません。各人の良さを結びつけて、共同研究体制の構築を提案していく努力もしていきたいと考えております。そして将来、数多くの後輩が母校や他の大学での教授選等で、他の候補を押しつけて、実力で勝ち取っていく姿を夢見ております。

今後とも、ご指導の程よろしくお願い致します。



新L1号館 完成

新L1号館正面

免震構造7階建ての新L1号館が完成しました。新L1号館前には、医学部前の道路脇から学祖北里柴三郎博士の銅像も移され、本学の発展を見守ってください。

1階はロッカー室、コンピューター室や事務部門、2階には学生食堂、コンビニエンスストア、自習室があります。3階からは一般教育部の講義室や実習室になり、3階に語学学習室、4階は生物学、5階は化学・物理学関係、6階は大講義室と高等教育開発センター、7階は教員室があります。1年生はここで講義を受けますが、2年生以上は学生食堂やコンビニエンスストアを利用することができます。（編集部）



2階学生食堂

気になる最新医療②

脳保護療法

作業療法専攻 教授
福田 倫也

こんにちは、OT専攻の福田です。2回目の「気になる最新医療」は、脳梗塞急性期の治療のお話をします。そのように書きますと、多くの方は、アルテプラゼという血栓溶解薬を静脈内投与する血栓溶解療法を思い浮かべることでしようが、今回は、脳保護療法を取り上げます。みなさん、ご存知でしょうか？

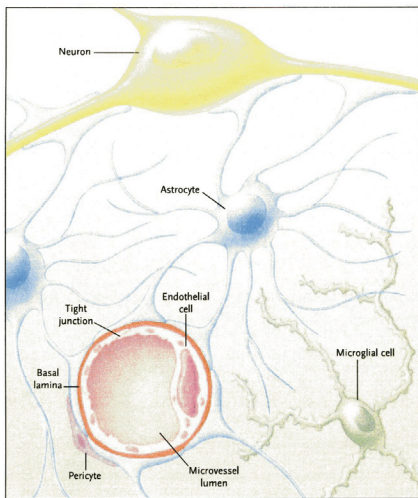
脳保護療法で使用されるお薬は、エダラボン（商品名、ラジカット）です。既に平成13年から急性期脳梗塞患者さんを対象に承認されています。当初、このお薬は、梗塞巣の周辺に広がって



図1 虚血性ペナンプラ

いて、なお梗塞に陥っていない虚血性ペナンプラと呼ばれる部位（この部位の神経症候は可逆性です、図1）に作用して、脳梗塞に移行させず、治療可能な限られた時間を延長させる可能性が期待されていました。より具体的に、虚血により産生の増加したフリーラジカルが、細胞膜中の脂質の過酸化反応を起こし、これによる細胞障害が生じる反応過程において、エダラボンはフリーラジカルの吸収物質（スカベンジャー）として作用すると考えられています。実際には、脂質を多く含む有髄神経の髄鞘（すなわち神経細胞）がエダラボンの重要な作用部位と想定されてきました。

一方、同じ頃から脳血管障害の研究者は、神経細胞、血管内皮細胞とグリア細胞（特にアストロサイト）等を機能的統合体として捉えるようになり、Neurovascular unit (NVU) という言葉が用いられるようになりました（図2）。そして、最新の研究から、エダラボンは神経細胞のみならず血管内皮細胞やグリア細胞等を含め、網羅的に急性期脳梗塞患者さんに効果のあることが明



The Neurovascular Unit.

Del Zoppo GJ. Stroke and neurovascular protection. *N Engl J Med* 2006; 354: 553-5.

図2 Neurovascular unit

らかになり、よく予防の観点からその有用性が大変注目されるようになっていきます。

最後に、エダラボンに関する他の疾患のトピックスを一つご紹介します。現在、進行性に筋力が低下する神経難病、筋萎縮性側索硬化症患者さんの症状進行をこのお薬のフリーラジカルスカベンジャー作用が抑制させるのではないかと考えられ、その効果を確かめるための第3相臨床試験が終了、解析中であり、その結果が多いに期待されています。

脳梗塞であれ筋萎縮性側索硬化症であれ、エビデンスに基づく内科的治療の発展は、私たちリハビリテーションに従事するものへ与える影響も大と考え、この場をお借りして、今回紹介させていただきました。

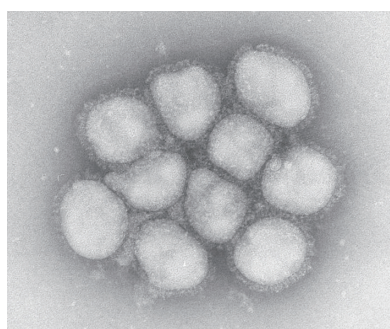
グランドミステリー・パンデミックフルー

その3 アラスカの白い墓標

森羅 星辰

一九九七年白夜のアラスカ、永久凍土の墓地の中、宇宙服のような防護服に身を包んだ集団が軍用車輛から降り立ち、墓を暴きはじめた。やがて棺桶があらわれ、その蓋が慎重に取り除かれた。79年間の眠りを妨げられた主は、墓碑銘から一九一八年に埋葬された女性。この墓荒らし集団は、彼女の肺の一部を切り取り試験管に密封し、液体窒素を満たしたケースに

保存した後、大量の消毒薬を散布、凍土を埋め戻し去って行った。糟屋がアラスカの墓を掘り返していた頃、安曇は香港にいた。5月にインフルエンザに罹患し多臓器不全で死亡した3歳の男児がおり、どうも気になったのだ。案の定11月から12月にかけて17名がインフルエンザを発症し5人が死亡した。ウィルスを分離するといづれもA型鳥インフルエンザウイルス



豚(新型)インフルエンザウイルス

HSN1型であった。鳥のウィルスが直接ヒトに感染、しかも死亡率33%。このような事例は今まで知られてなかった。（つづく）



小林 こず恵

リレーコラム

に出会いました。この本では凄惨・残酷・非情・無惨で……甘美。心の底からゾッとすると、名画の見方を教えてくれます。絵の構図、色彩、筆遣いの分析に加え、作者の生い立ちや性格、絵の描かれた状況、当時の習俗に関するきめ細やかな歴史的知識、絵にまつわる神話・秘話……と面白い裏話がたくさん載っています。読み終わったあと、もう一度美術館へ行ってみ直したいと思わせてくれる本です。絵を見るのが好きな方、恐怖好きな方、歴史好きの方、ぜひ、お試しください。

新 教 員 紹 介



言語聴覚療法学専攻 准教授

東 川 麻 里

東京都出身。八王子市内で言語聴覚士として20年ほど成人を対象とした臨床をしていました。市内の言語聴覚士ネットワークを作り、最近では東京都言語聴覚士会の立ち上げに関わって参りました。専門は失語症・高次脳機能障害です。教育職を専らとしてまだ3年目ですが、学生の皆さんに私が臨床の場で学んできたことをお伝えしたいと思っています。平均時速21kmのマイカー通勤ですが、この秋は車中で虚無僧尺八のCDを楽しんでいます。



言語聴覚療法学専攻 准教授

石 坂 郁 代

病院と教員養成大学の勤務を20年ほど経験し、小児の言語発達障害領域を担当いたします。高度な専門性と豊かな人間性を備えた言語聴覚士の養成を目指して頑張ります。私は小・中学校時代は町田で育ちましたので、今は懐かしいエリアの40年後の姿に驚愕の毎日です（神奈中の運転手さんが親切なことにも驚愕！昔は・・・）。夢はワイルドフラワー（別名雑草?!）咲き乱れるガーデンで、わんにゃんと共に日がな一日優雅にお茶することです！



医療検査学科 血液学 助教

佐 藤 隆 司

平成22年4月に医療検査学科血液学の助教として着任しました。平成12年に北里大学臨床検査学専攻を卒業後、大学院医療系研究科に進み自己免疫疾患について研究を進めました。博士号取得後は、慶應義塾大学医学部内科で様々な自己免疫疾患（特に特発性血小板減少性紫斑病）の病態解析や臨床検査法の開発に携わりました。今後は研究成果を教育や臨床の場にフィードバックすることを目指しております。よろしくお願い致します。



診療放射線技術科学専攻 画像情報工学 講師

坂 口 和 也

平成12年国際医療福祉大学卒、同年より8年間西台クリニックにて診療放射線技師としてPET検査に従事。在職中に東京都立保健科学大学大学院に進学、画像情報工学を学び始める。大学院修了後の平成20年より放射線医学総合研究所にポスドクとして入所、PET受容体濃度画像解析の研究に従事。昨年度末に採用通知を戴き、本年4月着任。

今後目覚め意識を持って教育・研究に努める所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



診療放射線技術科学専攻 助教

渡 邊 祐 介

4月から北里大学東病院放射線部から診療放射線技術科学専攻に参りました。これまで14年間、診療放射線技師として勤務し、主に放射線治療分野を担当してきました。本年度より教員としての勤務がはじまり、これまでの臨床経験を生かして学生の皆さんに出来る限りリアルに伝える教育を目標に努力して参りたいと考えています。3年という短い任期ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



視覚機能療法学専攻 助教

浅 川 賢

4月より視覚機能療法学専攻の助教として着任いたしました。振り返ればオープンキャンパスにも参加した高校時代からの夢が叶い感慨深いものです。山梨（小淵沢）出身ですが長野、愛知、静岡と各所を転々として現在に至ります。「視能訓練士の魅力」を伝えられる教育ができればと考えておりますが、現実はその難しさに苦悩し、諸先生方にご指導いただきながら日々奮闘中です。これからも夢と責任を持って一生懸命精進して参ります。

編集委員会
委員長 石川 均
委員 大場 謙一
河村 晃一
酒井 利奈
田中 賢一
野田 和子
原田 浩志
渡邊 浩志

皆様お元気ですか。今年の夏は本
当に記録的な酷暑
が続きましたね。
この度、皆様方
のお陰でAHS記念
すべき10号が完成
しましたのでお届
けいたします。今
号も非常に内容に
富み、先生方のご
活躍ぶり、意欲が
良く伝わってくる
のと同時に、専攻
の学生さんたちの
喜びや苦労がしつ
かりと伝わってき
ました。私も勉強
になります。ご一
読いただき楽しん
でいただければ幸
いです。

編 集 後 記